

## 2. 友だち、学校生活についての相談

### ◇集団になじめない生徒

【Q】 中学校2年生の女子の保護者です。長女の友人関係のことでご相談します。小学校の頃より仲の良い友達がなく、学校では一人であることが多いようです。本人は、無理に友達を作りたいとは思っていないようです。新しい学年になり、友達ができると期待していたのですが、なかなかできないでいるようです。日曜日なども家の中に閉じこもりがちです。家族とは、一緒に話したりテレビを見たりしますが、積極的に話をするわけではありません。

今後、どのように対応したらよいか教えてください。

【A】 何となく集団になじまない、あるいはなじもうとしない、一人でじっとしているほうが気軽だ、一人で何か考えごとでもしているほうが気楽だと思っている子どもは、決してめずらしいことではありません。保護者として、友達がたくさん作ってほしいという願いは理解できます。しかし、大切なことは、本人が現在の状況をどのように考えているかということです。本人は、無理に友達に合わせるよりも現在の状況で満足しているようです。今後、本人の気持ちを大切に、次のように対応してみてもいいでしょうか。

- ①親しい友達ができないことを指摘するよりも、子どもの考えを認め、自信をつけるようにしましょう。また、子どもが悩んでいることがあれば、いつでも話しだせる雰囲気を作っておきましょう。
- ②いろいろな経験をさせましょう。ボランティア活動や地域の行事に参加させるなど、集団活動の中で、自己表現が発揮できる機会を多く持たせましょう。
- ③日常の生活では、子どもにも家庭の仕事を分担しましょう。また、買い物や旅行などに一緒に出かけたりすることをおして、集団での生活を意識させ、社会性を持たせましょう。
- ④学校と連携をとりましょう。本人が学級等での存在が認められ、学級等の一員としての役割を果たしているという満足感を得られるように協力を求めてください。

最後に、これからの成長の中で真の友達に出会うこともあります。じっと見守りながら、「温かい家庭」づくりを心がけ、人との触れ合いを大切にしてください。